

ぶんかざいまるちなび

No.57

文化財 知 ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。

ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

あしよろ

足寄町「アショロア ラティコスタ」、

「ベヘモトプス カツイエイ」が

ほっかいどうしていてんねんきねんぶつ

北海道指定天然記念物に！！

令和4年9月30日付けで、足寄町にある「アショロア ラティコスタ」及び「ベヘモトプス カツイエイ」が北海道の天然記念物に指定されました！！

《天然記念物とは？》

動物や植物、土地の成り立ちや珍しい岩などで、学問的に価値の高いものです。化石は地中に埋もれていた骨が石となったことから天然記念物となります。



「アショロア ラティコスタ」の骨格復元（レプリカ）

《2つはどのような化石なの？》

漸新世（約3,400万年前から約2,300万年前）に海に生息していた2体の束柱類化石です。

《束柱類ってなに？》

臼歯が円柱を束ねたような特徴的な構造をしていることに由来しています。北太平洋沿岸域の浅海性の地層のみから産出する絶滅哺乳類です。

《どうして山の中で、海にすんでいた生物の化石が見つかるの？》

「アショロア ラティコスタ」及び「ベヘモトプス カツイエイ」が生きていた時代は、足寄町東部は海でした。その後、地球の表面を覆う岩石の板がぶつかりあい、海底

が高く盛り上がり、現在の^{げんざい}ような陸地となったため、海の生物が化石として発見されることがあります。

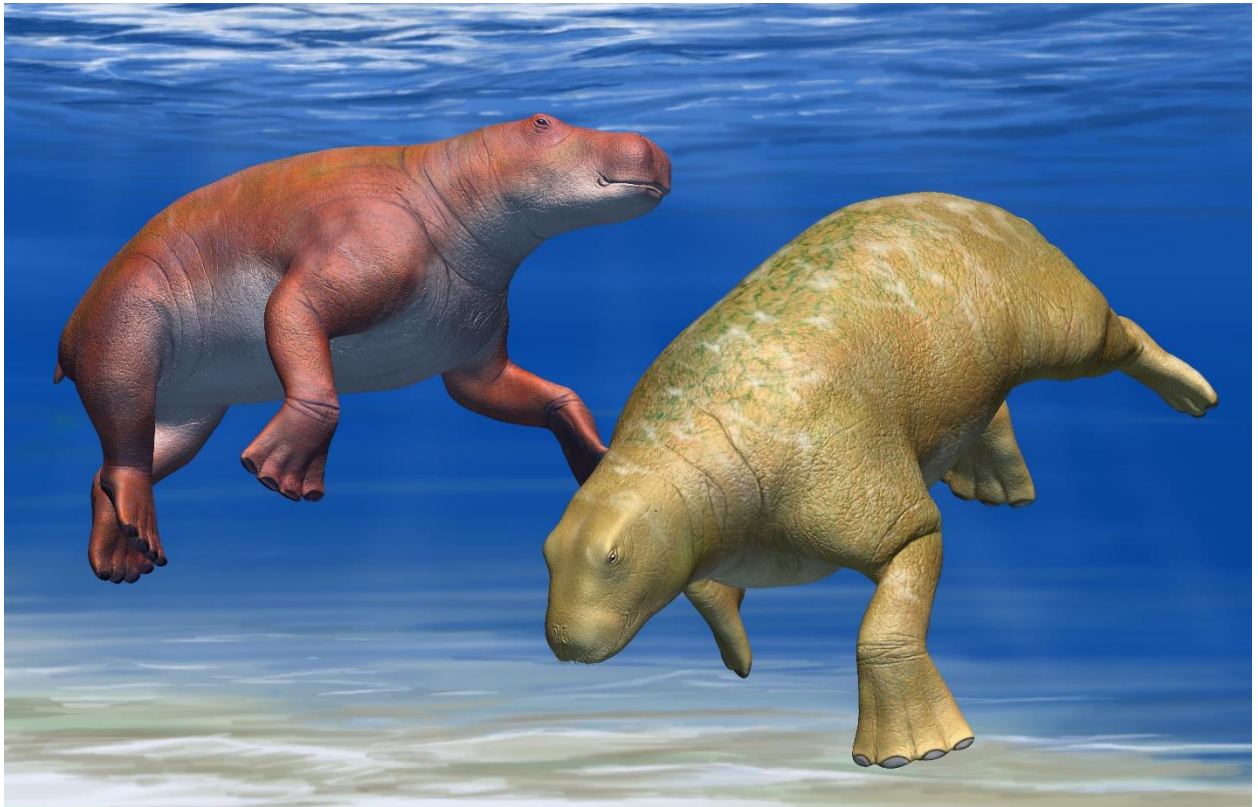
《どうしてこの2つの化石は北海道指定天然記念物に指定されたの?》

どちらも保存状態が良い骨化石から構成され、骨格の全身^{ふくげん}復元がなされた、世界でも貴重な^{きちょう}束柱類化石の骨格標本^{ひょうほん}であり、束柱類化石の起源と進化^{しんか}を考える上で、^{がくじゅつてき}学術的価値が極めて高いと判断されたからです。

《どこで見ることができるの?》

足寄動物化石博物館（住所：足寄郡足寄町郊南1丁目29番25）

<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp/index.html>



「アショロア ラティコスタ」(右)と「ベヘモトプス カツイエイ」(左)の復元イメージ

周りの文化財を見よう！知ろう！

現在、北海道教育委員会文化財・博物館課では、全道の博物館等で行われている事業の一覧を掲載していますので、御覧いただき、ぜひ行って、見て、自分の地元の身近な文化財について知ってみてください！

<https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.html>

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.57

発行 令和4年10月28日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

〔お問い合わせはこちらへ〕 電話 011-231-4111 (内線) 35-618 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp